



## 県議団「県政要望懇談会」 17 団体、ズームでの参加も

●党高知県議団は2月17日、各界各層で活動している県民、団体の皆様から県政に対する要望をお聞きする「県政要望懇談会」を開催しました。

毎年、新年度の予算を審議する2月定例県議会の前に開催しています。今年は新型コロナウイルス感染第6派禍中という事もあり、ネットを利用して自宅や職場からオンラインで参加してくれた団体が12団体あるなど、会場参加者含めて25名の皆さんと県議団6名の31名で懇談しました。

### インボイス制度の中止を 医療や保育・福祉職員守れ



●高知県労連からは、緊急小口や総合支援資金など生活福祉資金特例貸し付けの利

用者率は全国と比較して大変高いのに、雇用労働調整助成金の活用が全国平均の半分しかない、休業を余儀なくされている労働者支援への取り組みをと。

高知県商工団体連合会（民商）は県下業者の「事業復活支援金の額では復活できない、県臨時給付

金の内容がわかりにくい…」等の生の声と共に、インボイス制度の中止延期の強い要望がなされ、自治労連からは、看護・介護・保育職など特定事業の賃上げ策の実施をと、数々の要望が出されました。その他の要望等、実現に向け力を合わせてい

きます。

#### 県議会質問日程

代表質問 吉良県議 3月2日午後3時  
1問1答 中根県議 3月9日午後1時  
1問1答 塚地県議 9日か10日



●初めはげげんな顔で私をジッと観察です。次第に見慣れ安心したのでしよう、会って一時間ほどで念願の抱っこ！生まれて1年2カ月目に丸丸として柔らかいずっしりとした重みのある孫を笑顔で抱くことができました。一日も早いコロナ収束を。



高知を出て4日目に初対面となりました。かし、更に泊日を延ばし発熱なしを確認後、祈る気持ちで待つこと2日で陰性判明。しかし、更に泊日を延ばし発熱なしを確認後、高知を出て4日目に初対面となりました。

以下は高知民報からの転載です。（一部書き換えあり）  
●娘の佳子がコロナ禍さなか二人目の男児出産したのは一昨年。妊娠中からの神経質なまでの感染対策は出産後も変わらず一歳の誕生日を迎えても抱っこはおるか顔さえ見れず。もう待てじ！と意を決して上京したのが昨年末●羽田空港から直行したのは渋谷のホテル。慎重に唾液を採取し封印したPCR検査キットを投函、祈る気持ちで待つこと2日で陰性判明。しかし、更に泊日を延ばし発熱なしを確認後、高知を出て4日目に初対面となりました。